

第14回産業日本語研究会・シンポジウム

コーパスを活用した言語コミュニケーション研究

小磯 花絵



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立国語研究所

NINJAL
National Institute for Japanese Language and Linguistics

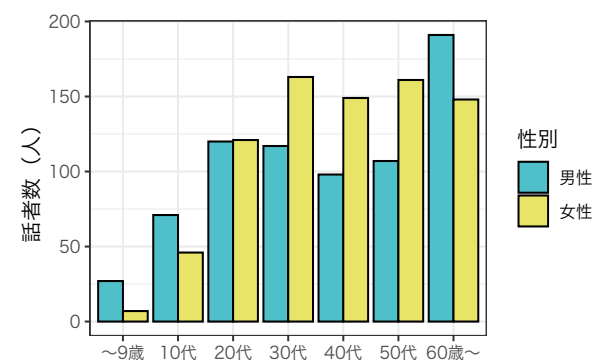
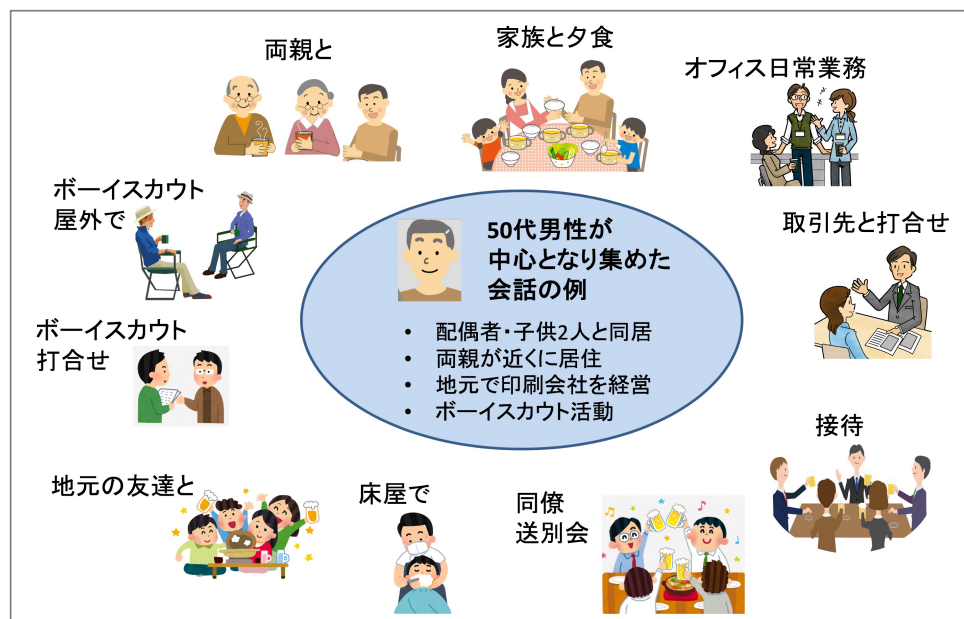
自己紹介

- 専門：コーパス言語学・談話分析
- 国語研究所で開発・公開に携った主要なコーパス
 - 日本語話し言葉コーパス
 - 現代日本語書き言葉均衡コーパス
 - 昭和話し言葉コーパス
 - 日本語日常会話コーパス

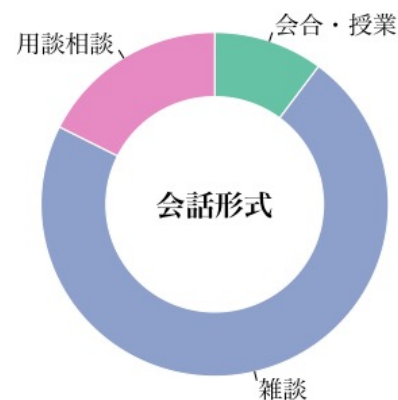


『日本語日常会話コーパス』

日常生活の多様な場面・話者による会話200時間を対象



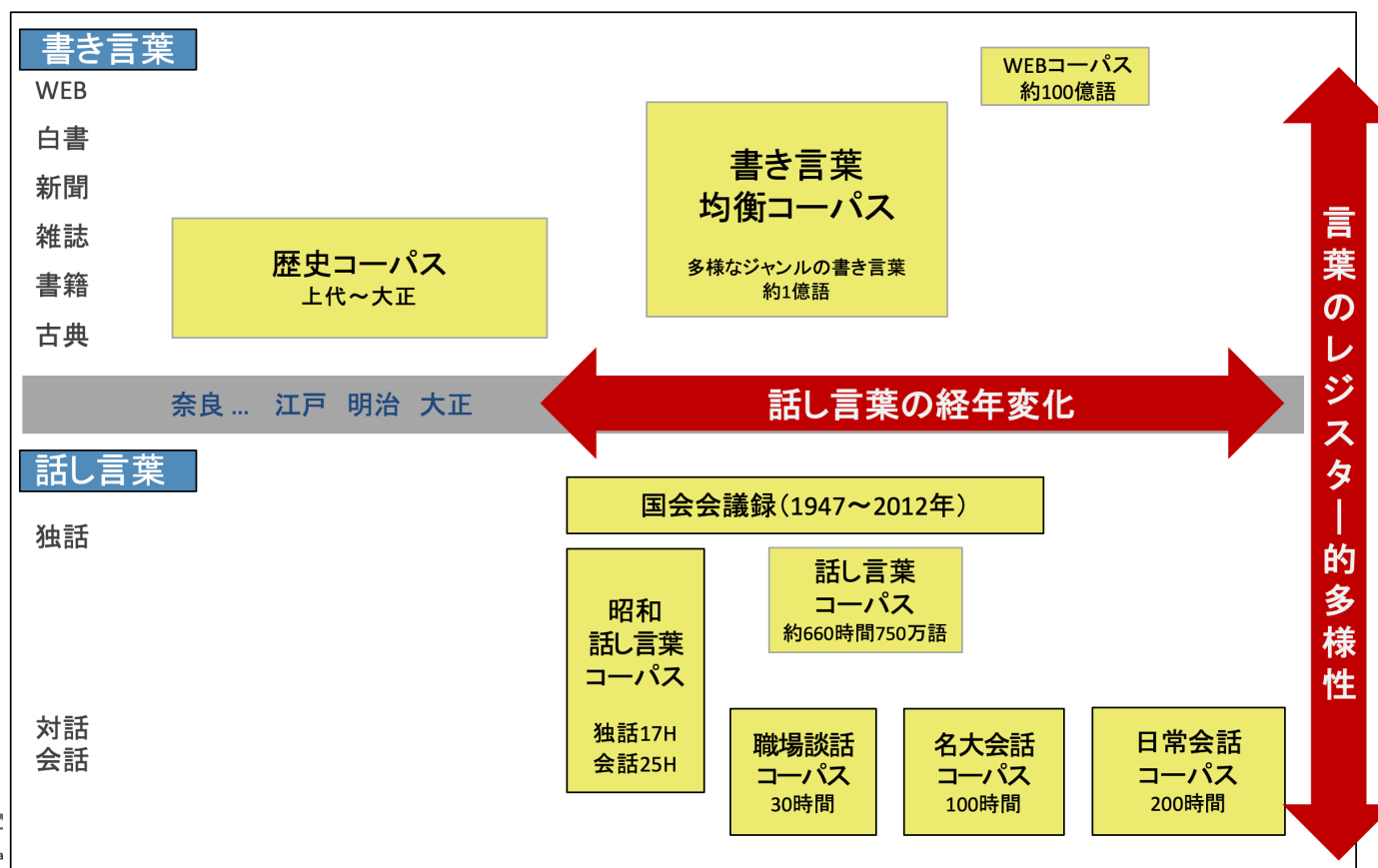
→ 話者の性別や年齢別に
みることばの使用実態
(成人中心に)



→ 場面の違いによることば
の使用実態

→ 相手との関係性に応じたことばの使用実態

その他のコーパスも合わせて活用することで 広がる研究の可能性



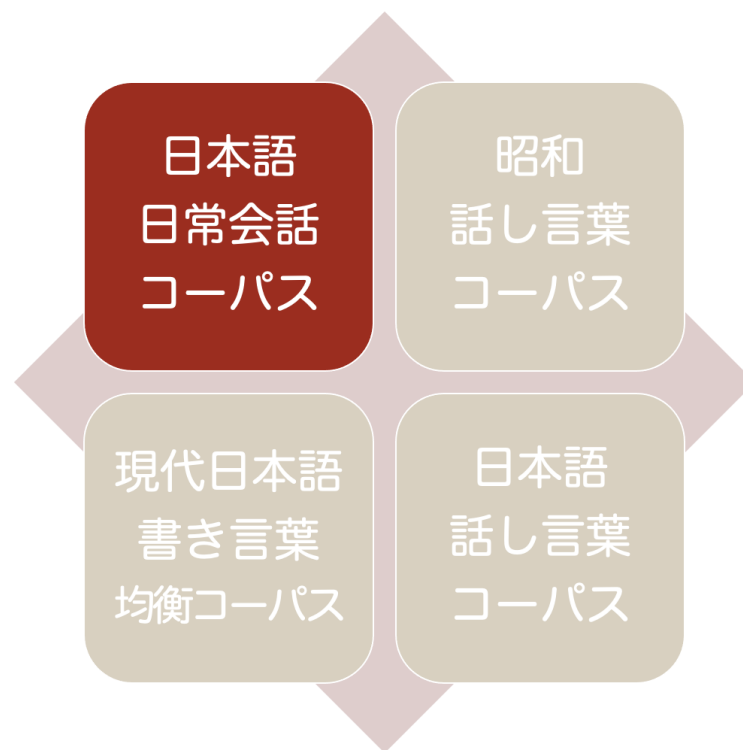
3つの研究事例

- 日常会話コーパスを中心に、その他のコーパスも活用することで、どのような研究が可能となるか、3つの事例を通して具体的に紹介
 - 丁寧体・普通体の使用
 - くだけた表現「縮約」の使用
 - 終助詞「わ」の使用

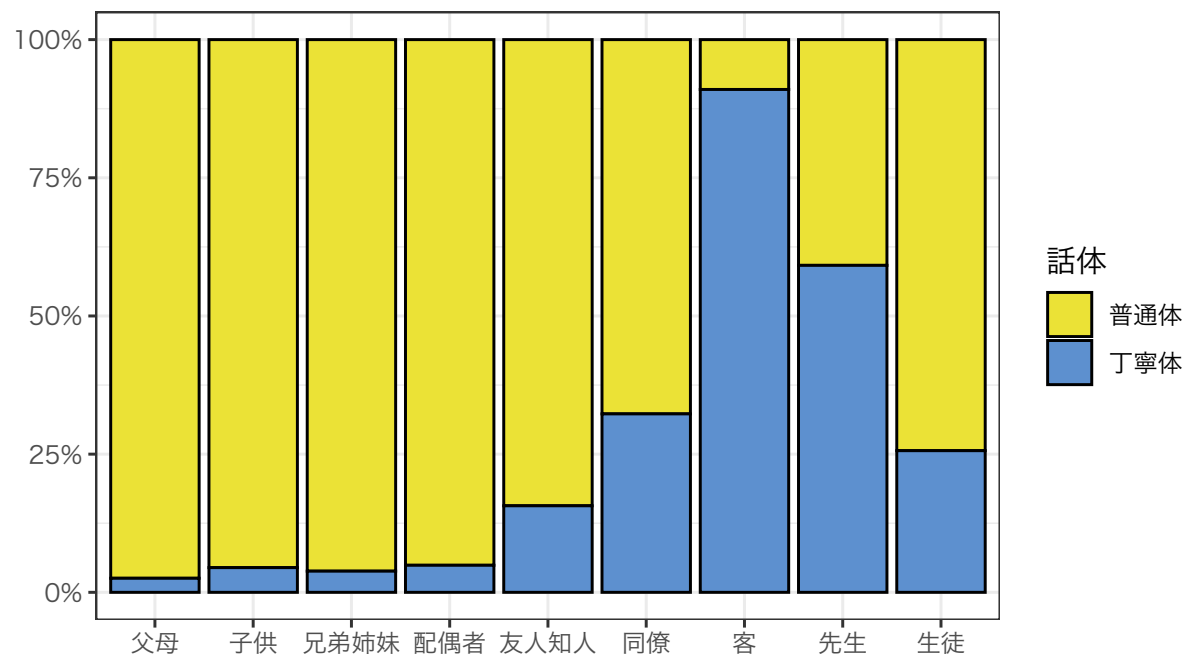


事例①

日常会話における丁寧体・普通体の使用実態



相手との関係性別にみた丁寧体・普通体の使用率



家族： 普通体 >> 丁寧体
* 親→子どもへの丁寧体の使用って? (しかる時など)

友人知人： 普通体 > 丁寧体

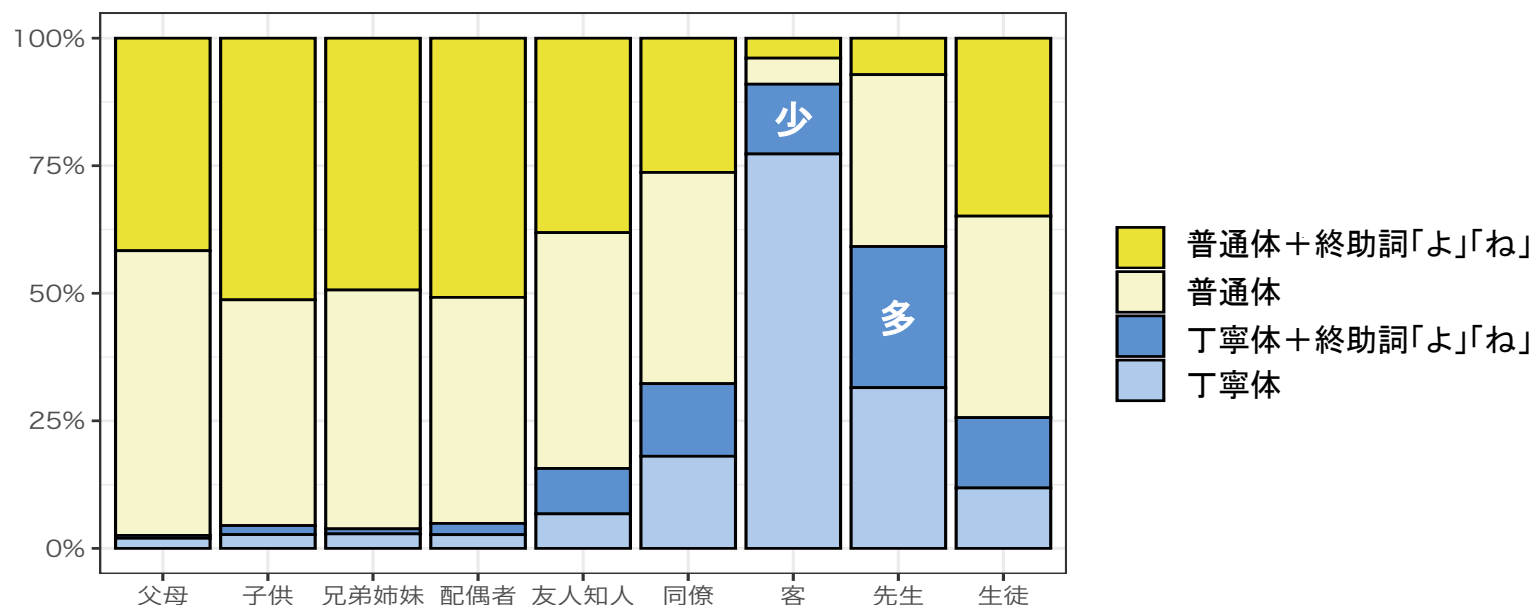
同僚： 普通体 > 丁寧体

客： 普通体 << 丁寧体

先生： 普通体 < 丁寧体
* 先生に対する丁寧体の使用はこのあと取り上げる

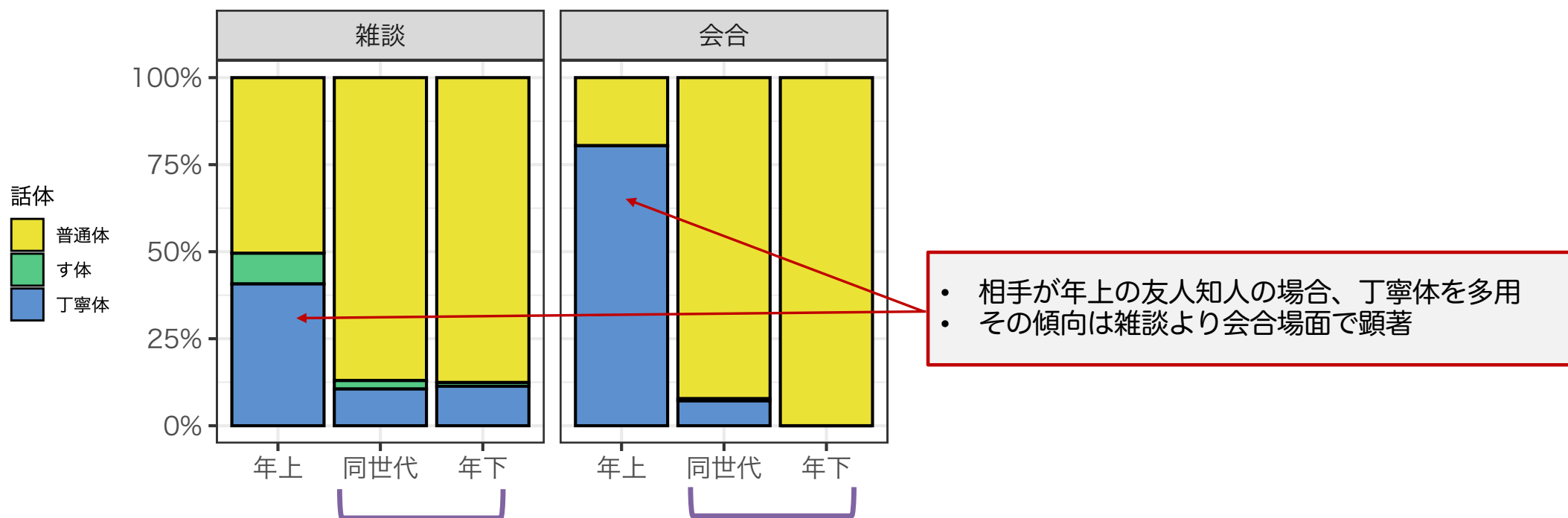
生徒： 普通体 > 丁寧体

先生に対して丁寧体をどの程度使う？ どのような使い方？



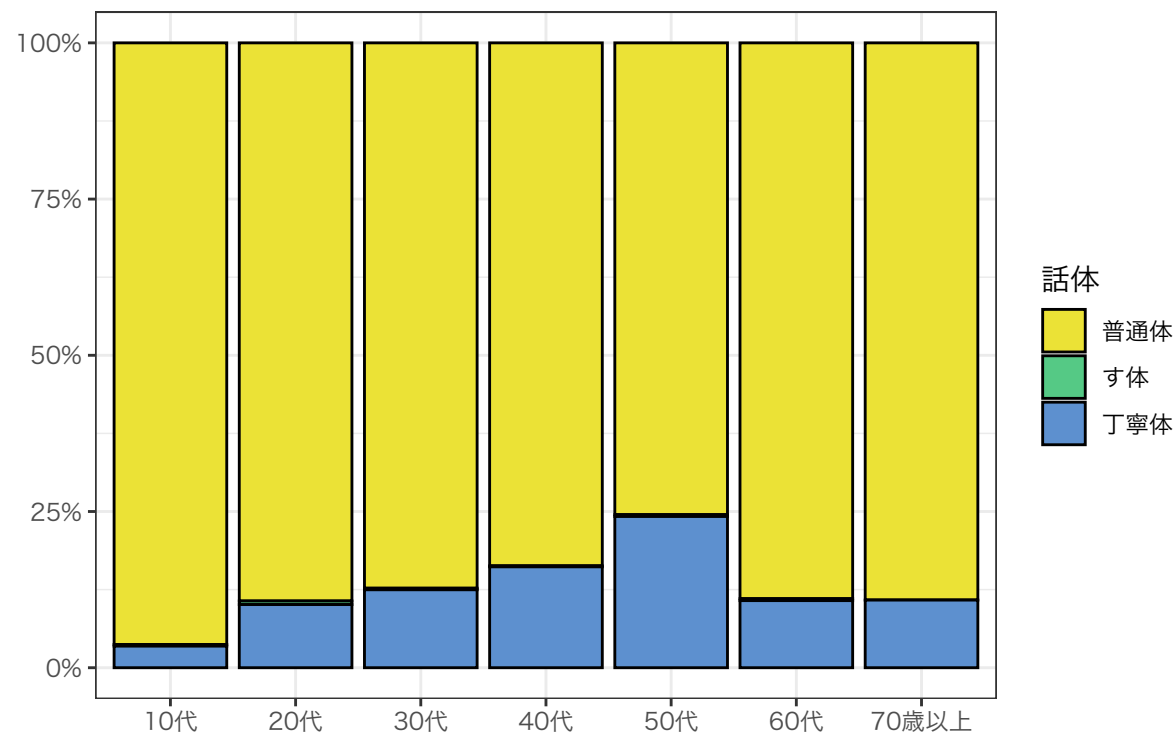
お客さんに対する場合と異なり、先生に対しては丁寧体に終助詞「よ」「ね」が付くことが多い
→終助詞「よ」「ね」の使用により待遇レベルを少し下げてでも親しさを表わす
(若者の傾向は改めて取り上げる)

場面別・年齢上下別にみた丁寧体・普通体の使用率 (相手が友人知人の場合に限定)



相手が同世代・年下の友人知人の場合、
雑談だけでなく会合であっても丁寧体はあまり用いない

年齢別にみた丁寧体・普通体の使用率 (相手が友人知人の場合に限定)



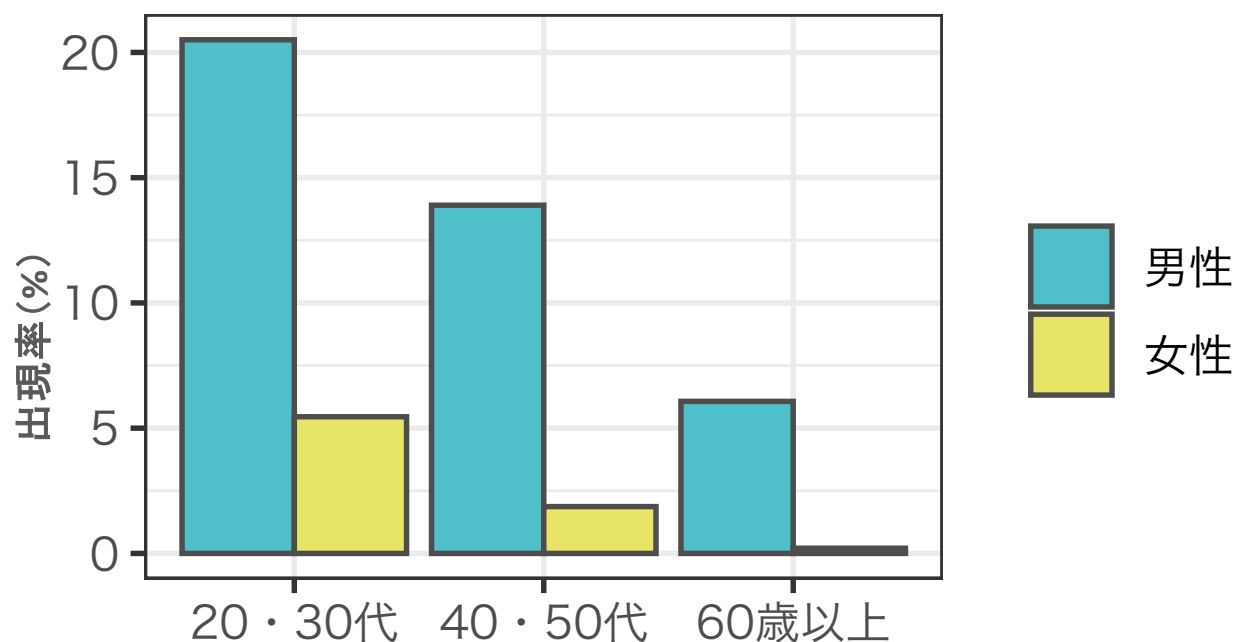
年齢が高い人ほど丁寧体を使うというわけではない
→ 年配の人は、相手が同世代か年下

年齢別・性別に見た「す体」の使用率

面白いです → 面白っす

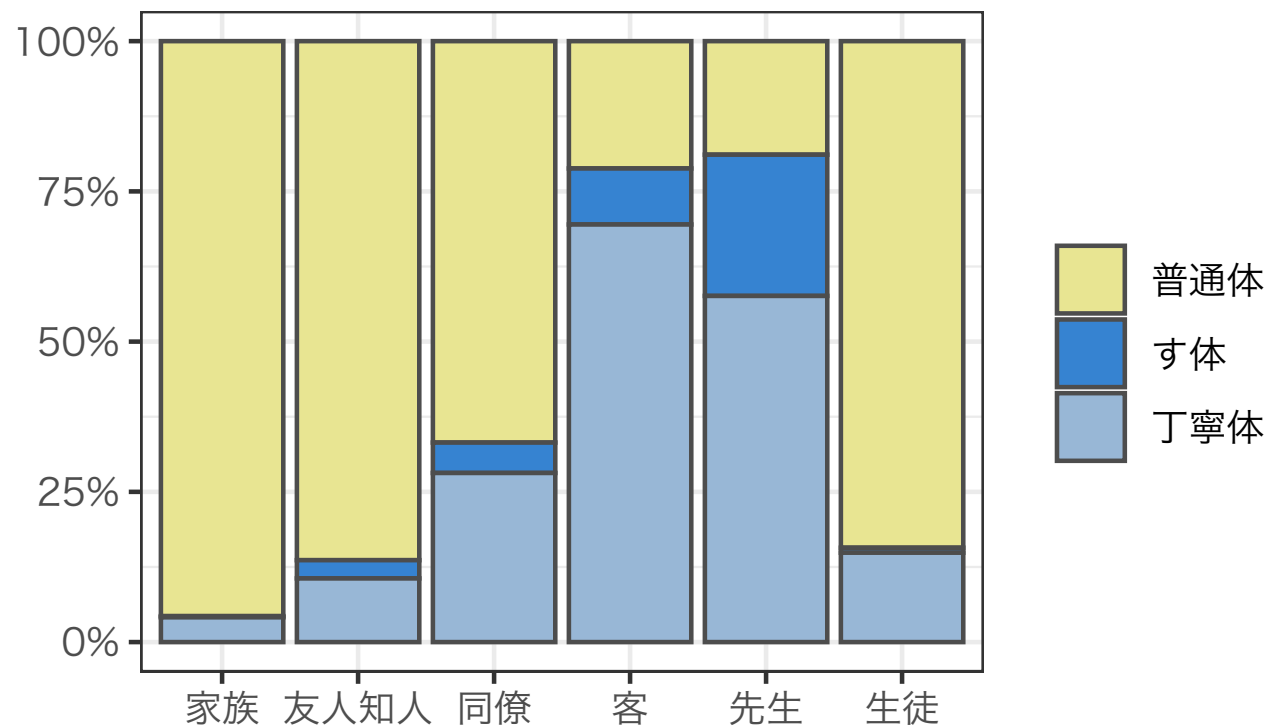
ご飯です → ご飯す

行きます → 行くっす



若い世代の男性がよく用いる
(60歳以上の年配の男性や若い世代の女性の使用も見られる)

相手との関係性別にみた「す体」の使用率 (20・30代男性に限定)



先生に対する発話のなかで、20代・30代の男性が「っす」を使うことが多い。お客に対しては使わない。
→ 丁寧（ですます）体+「よ」「ね」と同じく、待遇レベルを少し下げてでも親しさを表わす

事例②

日常会話における「縮約」の使用実態 ～講演や書き言葉との比較を通して～

◆ 縮約の例

【助動詞テル】

見**て**いる



見**て**る

【接続助詞チャ】

し**て**は(だめ)



し**ち**ゃ(だめ)

【準体助詞ン】

行く**の**だ



行く**ん**だ

【代名詞縮約】

これは



こりゃ

日本語
日常会話
コーパス

昭和
話し言葉
コーパス

現代日本語
書き言葉
均衡コーパス

日本語
話し言葉
コーパス

『日本語話し言葉コーパス』 独話パート

独話(629時間・717万語)	
299時間・356万語 学会講演 その他(講演・講義)	330時間・361万語 模擬講演 (主に個人的な内容に関するスピーチ)
インタビュー・ 課題指向対話・自由会話	朗読 再朗読
対話(12時間・15万語)	朗読(21時間・21万語)

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』

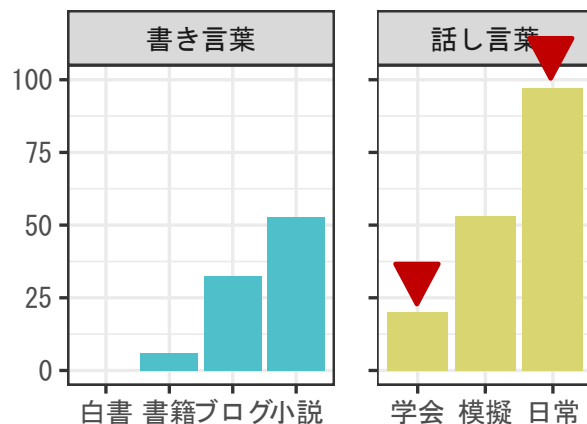


分析使用

- 白書
- 書籍
- ブログ
- 小説中の会話文

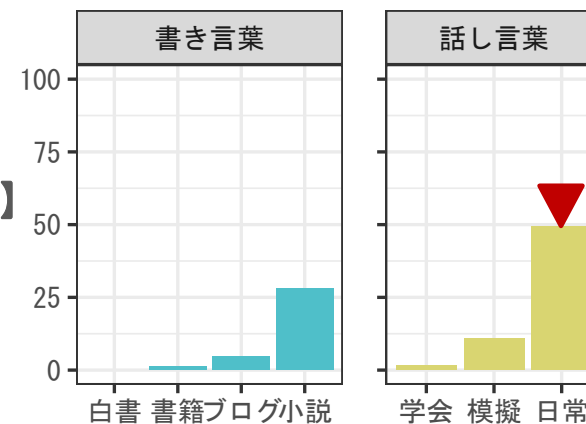
- ① 会話ではほぼ縮約の形しか出現しないが
スタイルを下げるため改まった場の講演
では使用が抑制されるもの

【助動詞テル】



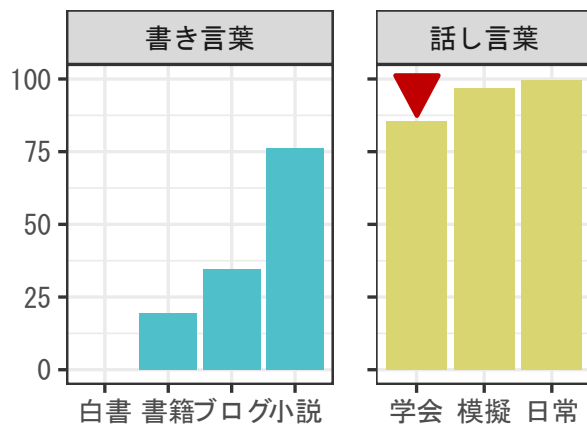
- ③ 日常会話であっても常に使用されるわけではなく
相手に応じた使い分けがなされるもの

【接続助詞チャ】

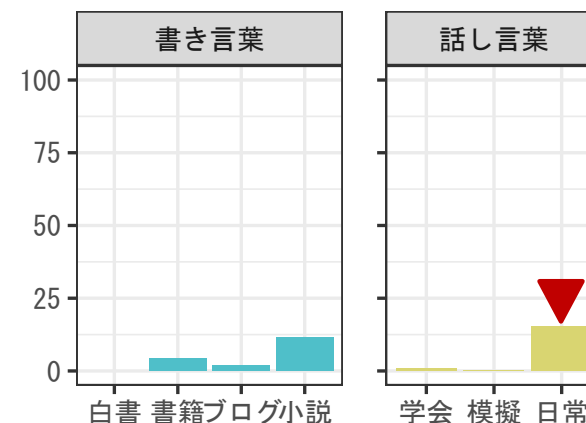


- ② 話し言葉ではスタイルを下げることなく出現するもの

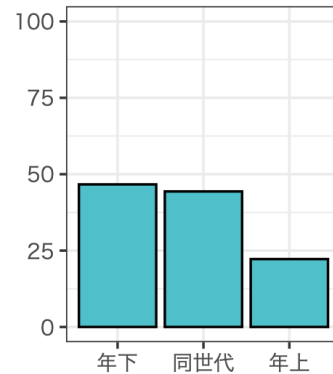
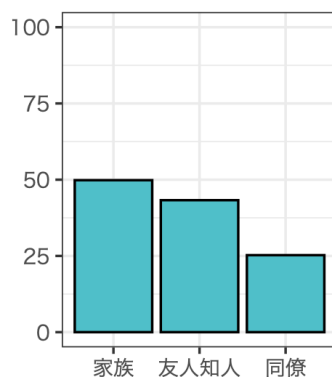
【準体助詞ン】



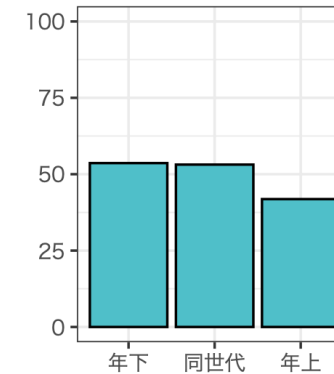
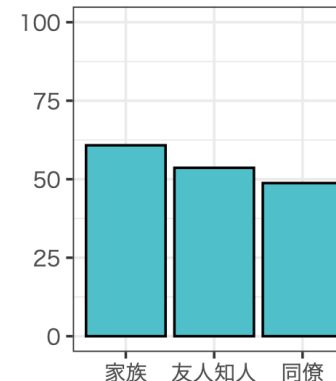
【代名詞縮約】



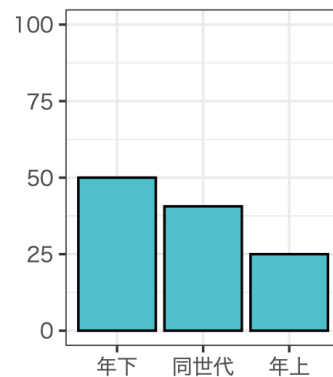
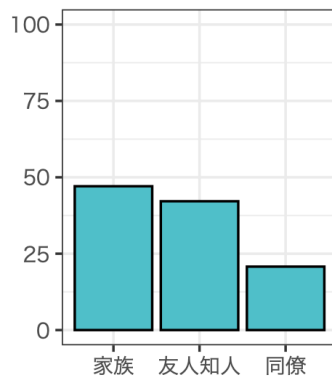
【接続助詞チャ】



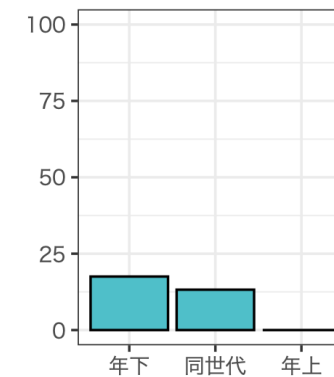
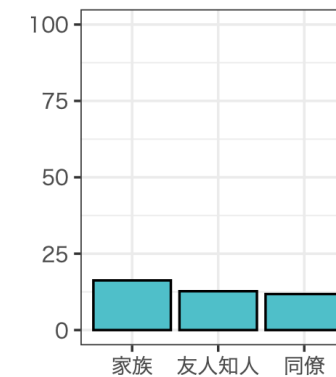
【動詞未然形撥音便】



【格助詞ジャ】



【代名詞縮約】



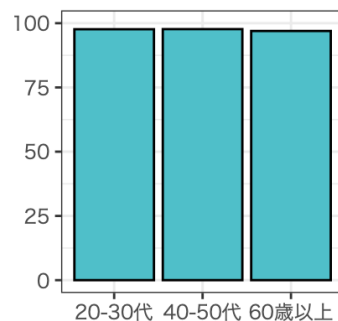
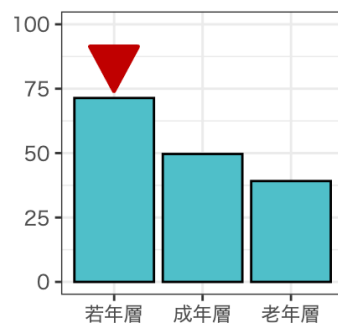
③ 日常会話であっても常に使用されるわけではなく相手に応じた使い分けがなされるもの

家族・友人知人 > 同僚
年下・同世代 > 年上

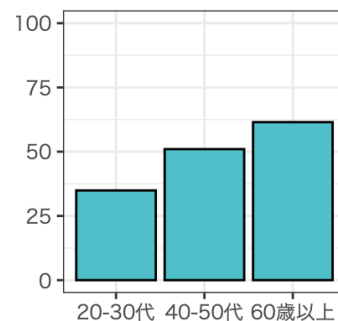
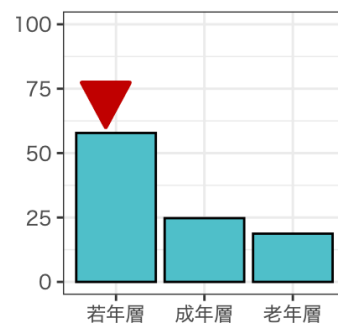
小説会話文

日常会話

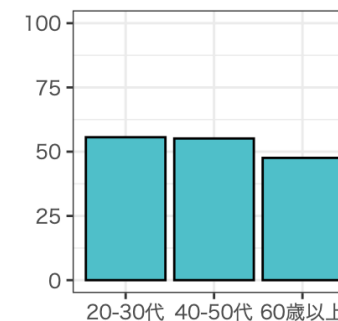
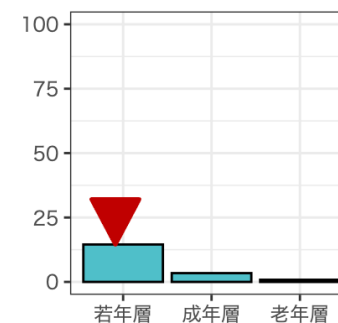
【助動詞テル】



【接続助詞チャ】



【動詞未然形撥音便】



- 小説の会話では若年層での縮約率が高い → くだけた話し方をする者として若者を描写するのに縮約が利用
- 実際の日常では必ずしも若い人の方が縮約を多く用いているというわけではない

事例③

日常会話における終助詞「わ」の使用実態 ～昭和期の会話との比較を通して～



『昭和話し言葉コーパス』 会話パート

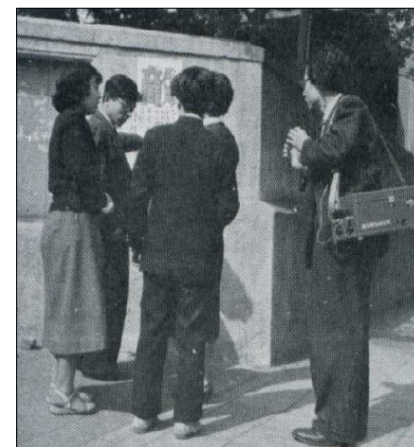
50～70年前（1952～69年）に収録された会話27時間

雑談

A美髪店 / N家雑談 / T社応接室
理髪店 / トタン屋 / 下町家族 / 浅草囃
劇団員雑談 / 三鷹学生 / 歯科大学学生
少年工員 / 扇子屋 / 魚屋小僧
麻布主婦 / 面接録音調査 / 養老院 など

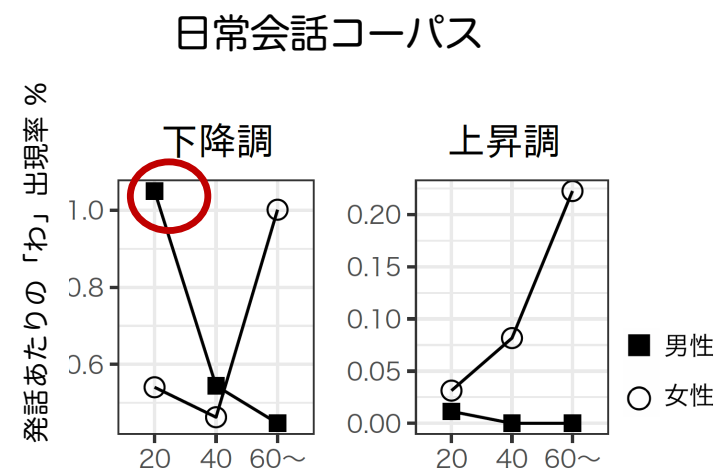
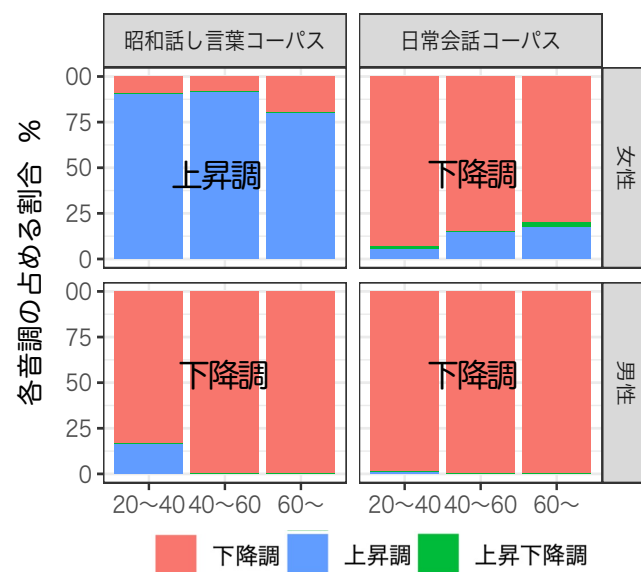
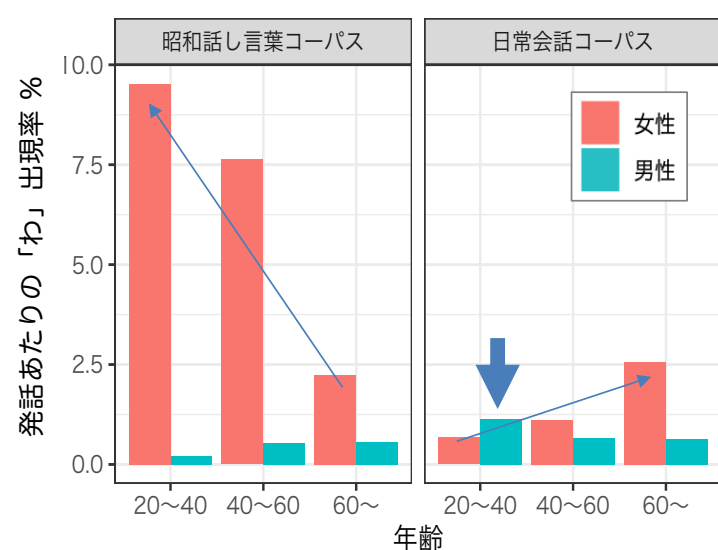
会議会合 組合団交

用談相談 タクシー苦情 / 魚屋 / 研究室の電話



1950～70年ごろ：女性語としての上昇調「わ」の使用
 2016～20年ごろ：女性語としての上昇調「わ」の衰退
 若い男性による下降調「わ」の使用が若干増加

- ・単純に性差が縮まっているだけではない
- ・音調をかえて若い女性から若い男性に？



1950～70年：女性 若いほど使用
 2016～20年：年配の女性 (当時多用していた世代)が使用
 若い世代は男性の方が使用

1950～70年：女性は上昇調、男性は下降調
 2016～20年：男女とも下降調が主流
 上昇調は年配の女性ほど使用

2016～20年：
 男性による下降調「わ」の増加
 女性は音調に関わらず年配の使用が多い

『日本語日常会話コーパス』

平成期の日本人の生活・文化を映像を含めて記録した資料

家具の修理



夕食準備



子供の宿題



職場で日常業務



オフィスで会議



床屋で



歯科治療



自宅で夕飯



大学サークル会議



高校学生指導



取引先 打合せ



友人とお菓子作り



家族と外食



家族で誕生会



習字教室



アルバイト



スーパー作業場



運動しながら



家族と旅行



車で家族と買物



友人と外食



同僚と打上げ



イベント 企画会合



収録にご協力くださった方々に深く感謝いたします